

第 10 回東京大学 ESS 杯争奪英語弁論大会のご案内

いよいよ夏の到来を迎え、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、私ども東京大学 ESS では、昨年度に引き続き第 10 回東京大学 ESS 杯争奪英語弁論大会を下記の通り開催することに致しました。昨年度も全国から非常にハイレベルなスピーカーの方々にご出場いただいたほか、本会場来場者・USTREAM 視聴者合わせて 1000 名近い観覧がありました。本年度もさらにご満足いただける大会をめざして、実行委員一同、全力で大会運営にあたって参りたいと思います。奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹言

記

<大会情報>

開催日時：2016 年 1 月 24 日（日）（予定）

会場：東京大学本郷キャンパス大講堂（通称：安田講堂）（予定）
（最寄り駅：地下鉄丸の内線・大江戸線本郷三丁目駅、地下鉄南北線東大前）

※開催日時および会場は、変更になる可能性もございますので、予めご了承ください。決定次第、公式ホームページおよび第 10 回東京大学 ess 杯争奪英語弁論大会 Facebook ページ <https://www.facebook.com/todaihai> にて発表致します。

<大会コンセプト>

Revival

~A Speech of the People, by he People, for the

People~

私たちは、本大会が行なわれる意義は三つあると考えます。一つ目に、激動の時代と多様性の社会にあって、広く開かれたパブリックスピーキングの場を提供すること。二つ目に、グローバル化の著しい現代において、世界共通語である英語によるスピーチがなされる場を提供すること。そして最後に、スピーカー、聴衆、審査員、運営者を含めた大会に関わる全ての人々が、新たな価値観に触れることのできる場を提供することです。

初め二つの意義について、私たちは「世界に通用するパブリックスピーキングの場を提供する」という本大会第一回のコンセプトを十年にわたり引き継ぎ、それらの実現に向かって努力を続けてきました。多様な出身とバックグラウンドをもつ審査員の採用、全編英語による大会運営、年齢・国籍無制限の応募条件、USTREAMによる全世界への映像配信などはすべてこの理念によります。

ですが、開催十周年を迎える本年度にあたり、私たちは改めて「スピーチとは何か？」という問いに正面から臨みました。そして、その答えの一つが以下のようなものでした：「スピーチとは、話し手の一人善がりではなく、その場すべての人々が投影され、参加し、振動するものとなるべきである。」これは、まさにスピーチという営みの原点とも言える視点です。この発見、あるいは「再発見」を伝えるため、私たちは歴史上最も有名なスピーチの一つである演説からかの名言を「復活」させ、本年度固有のコンセプトとしました。

スピーチが今、復活します。

<参加資格>

学生や社会人の区別、国籍、年齢に関わらず、どなたでも参加できます。

各校英語会・各所属団体からの応募数は無制限です。ただし、スピーカーの多様性と質を確保するために、以下の要領で12名の出場者を決定いたします。複雑となっておりますが何卒ご理解ください。

①大学生枠と一般人枠をそれぞれ以下の人数分設けます。

- ・大学生枠…本学以外の大学生および大学院生5名＋本学代表1名
- ・一般人枠…大学生および大学院生以外のあらゆる方4名

②残りは一般人または学生のうち点数の高かった応募者2名に割り当てます。

よってスピーカーの割り当ては以下の通りとなります。

一般（大学生以外）上位4名

大学生 上位5名

一般上位4名・大学生上位5名を除いた上位2名

本学 ESS 代表

<大会概要>

・Prepared Speech (7分)

…予め作った原稿に沿って発表するスピーチ、既発表のスピーチも可

※スピーチは7分を目安にしてください。スピーチが8分を超えますとスピーチを打ち切らせていただきます。スピーチが7分を超えた場合の減点はございませんが、8分を超えた場合は減点対象となりますのでご了承下さい。

・Questioner との質疑応答 (採点対象内)

・このほか、「すべての人の、すべての人による、すべての人のためのスピーチ」というコンセプトを体現するための余興を検討しています。具体的には、スピーチを受け取ったオーディエンスの中から希望者に Extemporaneous Speech (15 分間の準備時間ののちに発表する 4 分間の即興スピーチ) を行っていただく形などを検討しています。詳細が決定次第 Facebook ページ上での告知を行いますので是非ご覧ください。

<応募方法>

参加希望の方は以下 4 点をご確認のうえ、メールをお願いいたします。郵送の必要はございません。

1. 参加申込書 (Application)

東大杯 Facebook ページ (<https://www.facebook.com/todaihai>)、または Web サイト Speech Agora (<https://sites.google.com/site/speechagora/opun-da-hui-qing-bao2015>) の「東京大学 ESS 杯争奪英語弁論大会」の欄よりダウンロードして頂き、ご記入後データをメール添付してください。

2. スピーチ原稿

以下に注意して原稿を作成し、Word 文書形式のデータをお送りください。

- ・書体（フォント）は全て Century を使用してください。
- ・行間は 1.5 行にしてください。
- ・タイトルは太字で中央揃え、フォントサイズは 12 です。
- ・タイトルの行から 1 行空けて、スピーチの本文を記入してください。フォントサイズは 10.5 です。
- ・パラグラフの先頭は Tab キーを押して、5 スペース分あけてください。
- ・次のパラグラフに移るときは一行あけてください。
- ・ピリオド（.）、疑問符（?）、感嘆符（!）の後は 2 スペース分あけてください。

※スピーチの前にはタイトルのみを打ち、所属（学校名・企業名など）・氏名は入れないでください。

3. スピーチを録音した音声データ

本人の声で、タイトルとスピーチ原稿のみ英語で録音してください。こちらにおきましても 7 分を目安に録音してください。スピーチの録音時間が 8 分を超えている場合は審査対象外とさせていただきます。

以上 3 点を、ファイル名を全てスピーチタイトルにしたうえで、以下のアドレスまでお送りください。件名は「氏名 スピーチタイトル」としてください。

例：氏名=Yu Urano、タイトル=Revival の場合

ファイル名=Revival 件名=Yu Urano Revival

送付締切：2015 年 10 月 16 日（金）23 時 59 分

送付先：todayhai-speakerassist@utess.net（第 10 回東京大学 ESS 杯スピーチ送付用アドレス）

※お送りいただいた個人情報は厳重に管理し、大会運営以外の目的で使用することは一切ございません。

<予選結果>

予選通過者には、12 月の半ばごろまでに、電話にてご連絡いたします。通過者、落選者ともに 12 月中に、採点済みのジャッジングシートをメールで送付致します。

なお、予選通過後のタイトル・Main Claim (スピーチの軸となる主張) の変更はできません。

<大会HP>

<https://www.facebook.com/todaihai>

こちらが本大会 Facebook ページとなります。大会情報を随時このページの方で公開致しますので是非ご覧ください。大会ホームページも近日こちらのページにアップする予定です。応募に関して何かご不明な点、質問等ございましたら、下記連絡先までお気軽にご連絡ください。

todaihai-speakerassist@utess.net (第10回東京大学 ESS 杯質問受付用アドレス)

皆様のご応募を東京大学 ESS 杯実行委員会一同、心よりお待ちしております。

第10回東京大学 ESS 杯争奪英語弁論大会実行委員会

スピーカー担当

以上